

札幌市の在宅医療需要等の調査結果（概要版）

1 アンケートによる実態調査

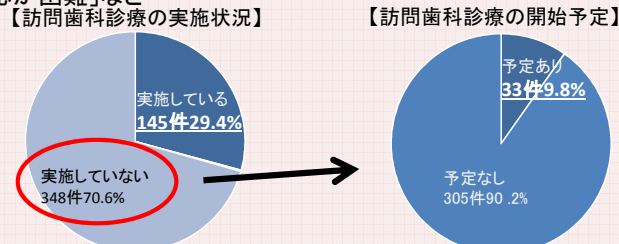
(1) 市民(対象数5,000人、回答数2,208人、有効回答率:44.4%)

- 「在宅医療」という言葉を「ある程度知っている」と回答した方は**1,217人(55.6%)**
- 病気を治療しながら最期を迎えると仮定した場合に、最後を迎える場所については「**自宅**」が**705件(32.5%)**で最も高かった
- 回答者自身が通院困難になった場合に「在宅医療」を選択する回答者は**446人(20.5%)**。年代が高くなると「在宅医療」の希望は減少し、「入院」の割合が増える
- 回答者の身近な人(同居家族)が通院困難になった場合に「在宅医療」を選択する回答者は**311人(15.8%)**。回答者自身の場合と同様に、年代が高くなると「入院」を選択する割合が高くなる



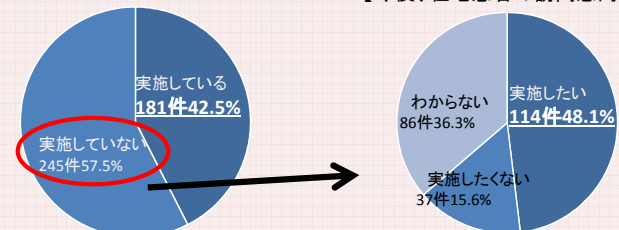
(2) 歯科診療所(対象機関数1,061件、回答数568件、有効回答率:53.8%)

- 現在、訪問歯科診療を実施している歯科診療所は**145件(29.4%)**
- 今後、訪問歯科診療を開始する予定がある診療所は**33件(9.8%)**
- 現在実施していない理由は、「実施する余裕がない」「スタッフが少なく対応が困難」など



(3) 薬局(対象機関数696件、回答数427件、有効回答率:61.4%)

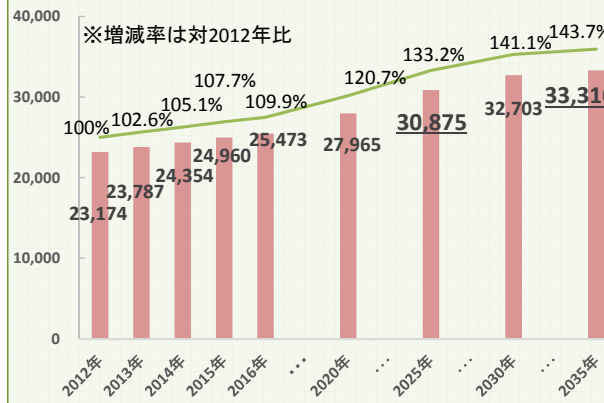
- 現在、在宅患者訪問薬剤管理指導・居宅療養管理指導等を実施している薬局は、**181件(42.5%)**
- 今後、患者への訪問実施意向は「実施したい」が**114件(48.1%)**



2 既存データの活用による各種推計値

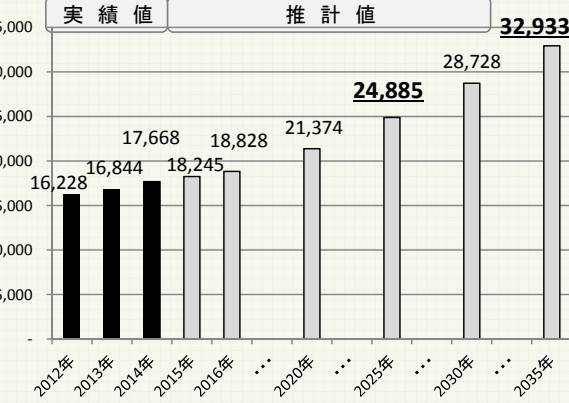
(1) 入院患者数(年内の一時点での調査)

- 1日あたりの入院患者数: **2035年には約3万3千人**
- 2012年と比較して約4割増加(約1万人増)



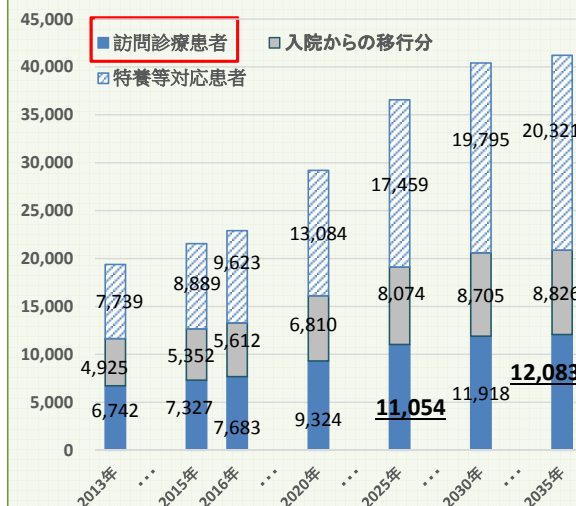
(2) 死亡者数

- 死亡者数: **2035年には約3万3千人**
- 2012年と比較して、約2倍へ増加(約1万6千人増)



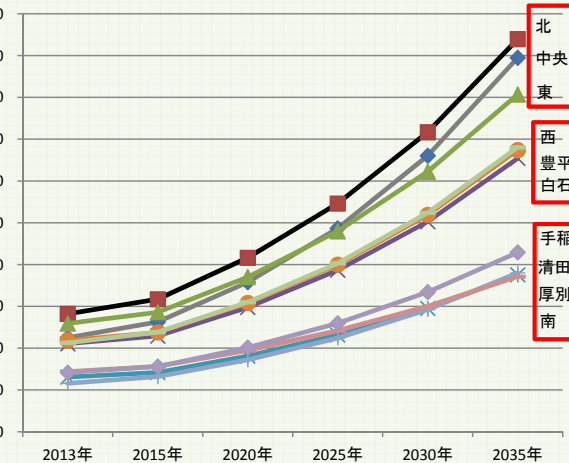
(3) 在宅医療患者数の将来推計

- 患者数: **2025年には11,054人、2035年には12,083人**
- 2013年と比較して、2035年は約2倍へ増加(約6千人増)



(4) 区別の在宅医療患者数の推計(参考)

- 上位群(北・中央・東)、中位群(西・豊平・白石)
- 下位群(手稲・清田・厚別・南)と層別化される



(5) 在宅医療に必要な医療機関・医師数

- 2025年までに10人以上/年以上医師を増加する必要がある

	2013年	2015年	2025年	2035年
病院	32.8	35.6	53.7	58.7
診療所	178.1	193.5	291.9	319.1
医師数	276.3	300.3	453.0	495.2

(6) 在宅医療と入院の医療費の比較

- 在宅医療の方が約2割安い

	平均値	内訳
在宅医療	24,950円/日	医療費20,170円 介護費4,780円
入院医療	30,980円/日	